

共栄児童館 事業評価表

※事業区分「1」・・・仕様書事業 事業区分「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R元	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R元 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 すくすくクラブ	月2回程度	10	13	15	16	241	0	0	236	477	15	114	0	0	100	214	ふれあい遊びわらべ歌を毎回行い心の発達を促した。主活動ではアソビ結果からベビージョや簡単なサーキット遊び等体を動かす内容を多く取り入れ、手足を活発に動かし好奇心を育てる内容にした。 新型コロナの影響により1回中止。
		② 乳幼児クラブ 1歳 にこにこクラブ	月2回程度	10			16	92	0	0	90	182	15	166	0	0	164	330	母親の傍から少し離れ始めた子ども達に対し、自分でやろうとする機会を多く作った。トランポリンやサーキットで職員の声掛けにより、1人で挑戦しようとする子も徐々に増えた。思う様にいかないでぐずる子には、母親と一緒に優しく対応し、皆が参加できるよう努め励んだ。 新型コロナの影響により1回中止。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ちびっこクラブ キンダークラブ	月2回程度	10			32	131	1	0	129	261	30	199	9	0	155	363	キンダークラブは、エアートランポリン等、大きな器具を用いた「家でできない遊び」と、風船、シート、段ボール等で「家でできる遊び」を提供。家庭で楽しく行うことができる体力作りのヒントとなり、大変好評だった。ちびっこクラブは年間を通じ、感触遊びを多く取り入れた。春雨、泥、片栗粉遊びの他、手打ちうどんに挑戦した。手打ちうどんは、事前に何回も試作をし、太さ、茹で時間等を研究して臨み、おいしくできたこともあり、子どもにも母親にも大好評だった。 新型コロナの影響により各1回中止。
	小 計						64	464	1	0	455	920	60	479	9	0	419	907	
	2	④ 自主事業 ・英語であそぼう、リトミック ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・季節に合わせた行事 げんきつき・こいのぼり会 きらりん七夕会、水遊び ハッピーハロウィン きららクリスマス会 ぱらっぱまめまき会 ・共栄ダダッコミまつり	随時		15	14	70	533	17	0	538	1088	54	449	0	0	426	875	おさんぽ、英語、リトミックの他季節に合わせた行事を実施。節分、七夕、支援センターと共催で地域を回ったハロウィン等多様な人と関わる機会を提供した。より多くの幼児親子に共栄児童館を知ってもらう事を目的に新規事業「共栄ダダッコミまつり」を実施。母親クラブの協力によるバザー等今までとは違うことに挑戦し、校区外からの参加も多かった。 新型コロナの影響により「ひなまつり会」「トランポリン」「たんじょうび会」「リトミック」「おさんぽクラブ」が各1回中止。
	小 計						70	533	17	0	538	1088	54	449	0	0	426	875	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R元	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R元 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2回程度		15	15	24	0	330	0	0	330	21	0	400	0	0	400	一輪車クラブは、演技の曲が決まると高学年は技や振りをすべて自分たちで完成させた。意見の食い違い等によくけんかしたが、職員は原因を追究するより、言葉の大切さについて指導するのみにした。相反しながらも、子どもたちは曲、一輪車の技量等を何度も確認して完成に至った。その過程が子どもたちを成長させたと、演技披露の顔から窺うことができた。新型コロナの影響により2回中止。 子どもスタッフクラブは、保育園、福祉施設、敬老会等を訪問。例年より多い参加者が、どの子も主役として参加でき高齢者も楽しめるものと思い、「青い山脈」に合わせた棒人形のダンスを提案した。本筋は職員の案だが、歌詞を紐解き、子ども達が見つけた情景を形にし、出し物を彩った。新型コロナの影響により1回中止。 チャレンジキッズは作品作りや、調理実習をしながら、無限に広がる子どもたちの話を聞くことができるので、職員も楽しんでいる。新型コロナの影響により1回中止。
		子どもスタッフクラブ	月2回程度				19	16	184	0	104	304	19	13	261	0	121	395	
		チャレンジキッズ	月1回				10	0	80	0	0	80	9	0	90	0	0	90	
		② ボランティア活動 ・ありがとデー	月1回程度				13	0	35	0	0	35	14	0	34	0	0	34	
	小 計						66	16	629	0	104	749	63	13	785	0	121	919	
	2	③ 自主事業 ・チャレンジ番付(毎月) ・キューتناルーム(月1回程度) ・体力チャレ番(月1回) ・新1年生あつまれ ・おにぎりを作ってみよう ・作陶体験 ・子どもスタッフ交流会 ・壁画制作 ・クラス人権課巡回 ・季節に合わせた行事 ワンダーデイキャンプ 科学工作 小学生水遊び 小学生ハロウィンパーティ クリスマス会、節分会	随時		15	15	35	22	409	3	51	485	37	35	385	1	53	474	女子児童からの「かわいいアクセサリーやヘア小物等を作りたい」という要望を受け新規事業として「キューتناルーム」という工作の時間を開始。小学生来館は比較的男子児童が多いので、来館の少ない月曜日に設定し、女子児童の来館を促した。 多治見子ども権利の日協賛事業まちづくり市民会議協力の「小学生ハロウィン」は、大勢の参加があった。「子どもの権利の日」について話し合い、学校、地域等の大人が子どもたちのことを考えていることを伝える機会になった。 新型コロナの影響により「体力チャレ番」「おたのしみ会」「キューتناルーム」各1回中止。
小 計							35	22	409	3	51	485	37	35	385	1	53	474	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R元	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R元 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり 「えんじょい！ わっしょい！ じどうかんまつり」	10月26日	1			1	32	86	3	74	195	1	41	93	1	79	214	オープニングに佐藤梓さんを招き、募集した幼児、児童6名による「しんぶんダンス」は、練習を重ね新聞紙で作った衣装で本番に臨んだ。見ていた子ども達も振りをまねて楽しそうに歌っていた。幼い頃、児童館で遊んでいた地元の歌手と彼女に憧れる子ども達が、歌で繋がった事は、とても意味深いことである。
		② 移動児童館 高田焼きまつり 20区夏祭り 共栄文化祭	4月7日 7月12日 11月24日		15	15	3	65	223	2	82	372	3	58	276	9	81	424	地域の「高田焼祭り」では工作、「20区夏祭り」ではゲームコーナー、「共栄文化祭」では児童館行事の写真や工作の展示等で場を盛り上げた。児童館の多岐に渡る活動と目的が地域の方にわかるPRができた。
	小 計						4	97	309	5	156	567	4	99	369	10	160	638	
	2	③ 自主事業 ・館庭菜園 ・親子木工工作 ・ガサガサ探検隊 ・母、父、敬老の日のプレゼント作り ・花もち作り ・多世代卓球 ・うながっぱ うちわ配布 ・バードウォッチング ・むかし発見 ・バレンタインチョコ作り ・本とおともだちになるための一週間	随時		15	15	40	132	188	0	253	573	43	93	155	0	246	494	地域の窯元に協力いただいた「敬老の日プレゼント」作りは、素焼きのコップに油性クレヨンで絵や文字を書き、焼くという唯一無二の物で、参加者はとても喜んでいて、新規事業で土岐川観察館協力によるバードウォッチングを実施。子ども達が育っていく里山の美しい自然をじっくり観察した。新型コロナの影響により「多世代卓球」3回「むかし発見」「さくら咲く！おめでとう運動会」各1回中止。特に「むかし発見」は昔の遊びやお菓子作りを通じた世代が繋がる事業にしたいと考えており中止は残念である。
小 計							40	132	188	0	253	573	43	93	155	0	246	494	
中高生事業	1	① 中学生ボランティア ・デイキャンブ ・ガサガサ探検隊・幼児水遊び ・児童館まつり・共栄文化祭	随時	3	13	13	9	0	4	36	0	40	9	0	0	32	0	32	デイキャンブ、児童館まつり等ボランティアとして力を発揮してくれた。館内の窓拭き、ワックスの時は、仕事をしつつ進路、将来の夢を話してくれた。共栄文化祭の赤い羽根共同募金では、部活動の時のプレイヤーのような顔つきが、大勢の人の足を止めた。
	小 計						9	0	4	36	0	40	9	0	0	32	0	32	
	2	② 自主事業 ・ブレババ・プレママ体験 ・教えて中学生 ・中学生ハロウィン	随時		15	14	4	1	6	10	1	18	3	2	0	6	1	9	ブレババ・プレママ体験は、乳児と触れ合い、世話を体験することで、命の大切さ、家族への感謝等大切な事を感じ取った様である。「かわいだけでなく育てるのはたいへん」という感想があったが、それを感じてもらうからこそ、将来の子育ての不安をやわらげるものと期待している。
小 計							4	1	6	10	1	18	3	2	0	6	1	9	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R元	令和1年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H30 年度	R元 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 子育て相談 ・子育て相談日	月1回	12			12	4	1	0	6	11	11	1	0	0	2	3	相談日当日の相談は少ないが、様々な相談を受けた。トイトレニングについては、その子も含め児童館でもトイレに楽しく行けるようにドアにシールの台紙を貼った。おしっこが来るとシールをプレゼントし、自由に貼ってもらった。母親は「Oちゃん、おしっこ出来たんだねー、△ちゃんも頑張ろうね」と子どもに声掛けしていた。その他、ママ友の問題、発達について等、相談者に寄り添い、温かく支援した。 新型コロナの影響により1回中止。
		② 講習・講演・他連携 ・赤い羽根共同募金配分金事業 「どすこい！ じどうかん相撲体験」 ・避難訓練とポリ袋クッキング ・歳末助け合い共同募金募金 「風船太郎 ルンルンバルーン ショー」	6月29日 12月7日	2	14	13	4	32	42	2	53	129	2	16	34	0	28	78	相撲体験では、共栄校区から心臓が悪く思うように運動ができない子が参加した。いつもは激しい運動は止められるが、この日は力士に力いっぱい向かって行っていた。傍らの母親も「こんな体験はなかなかできないから」とにこにこして見守っていた。
		③ 母親クラブ ・共栄母親クラブ	月1回程度				11	70	0	0	147	217	13	47	0	0	82	129	母親クラブは、半分以上が仕事を持っておりスケジュールを調整しながら活動した。新米ママたいむ、小学生デイキャンプ、児童館まつり等のボランティアの他、ヤクルトの乳酸菌講座やミナールふりかけ作り等の講習会も開き有意義な体験をし、地域の母親同士の繋がりを深め、自らも母親として成長出来たようだ。 新型コロナの影響により1回中止。
	小 計						27	106	43	2	206	357	26	64	34	0	112	210	
	2	④ 子育て 自主事業 ・新米ママたいむ ・支援児あそびの広場 ・煙体験と防災食講座	随時		15	13	11	80	5	5	91	181	12	31	3	7	51	92	親育ち4・3・6・3協賛事業として、初妊婦、初産婦を対象とした「新米ママたいむ」を前年度に引き続き実施。ヘビーマッサージ、絵本の選び方、わらべ歌あそび等を中心に行い、相談、友達作りの場として、初めての子育てを応援した。 8月に「障がい児遊びの広場」を行い、段ボールの大型ロボットを皆で作った。ロボットは手を上下できるよう仕掛けておいたので、子どもたちは目を丸くして驚いていた。 食改協に協力を仰ぎ、本格的な防災食講座を実施。児童館が避難施設であることを地域の方々に認識してもらうことができた。
	小 計						11	80	5	5	91	181	12	31	3	7	51	92	